

地震予知は、電磁波の
観測で「可能」です。

JYAN研QUAKE NEWS

地震を予知する研究会
本部国東市 國廣秀光

地震の怖さは 世界共通！

昔から「地震、雷、火事、親父」と言われています。
これには順番があります。それは「いきなり」来る
かどうか？ です。

火事は消防のシステム、雷は天気予報システムで
人類は対処してきました。

しかし、地震だけは予報のシステムが無いから最も
怖いと言われているのです。

阪神淡路大震災

(早朝～2昼夜)

1995年1月17日 約6千5百人



救助・救急隊も現場に寄り付けない

全国から緊急援助隊が行ったが現場に入れず、十分な活動はできなかった。◎神戸は、昔から地震の無い所と言われていました。

東日本大震災

2011.3.11 (約2万人)



海が燃えた！

まさか
こんな
津波が
来ると
は！？



この災害は想定外では無く、地震学者・気象庁・行政・住民等の間違いだらけ？の結果だったと思います。
(◎問題は、「三陸も地震の来ない所」と言われ、最初の津波情報も間違っていました。)

どこにでも起きる。大地震！

「地震は来ない」と、昔から言われていた「所」

でも、大地震が、起きていました。

また、いつ起きるか？が、わかりません。

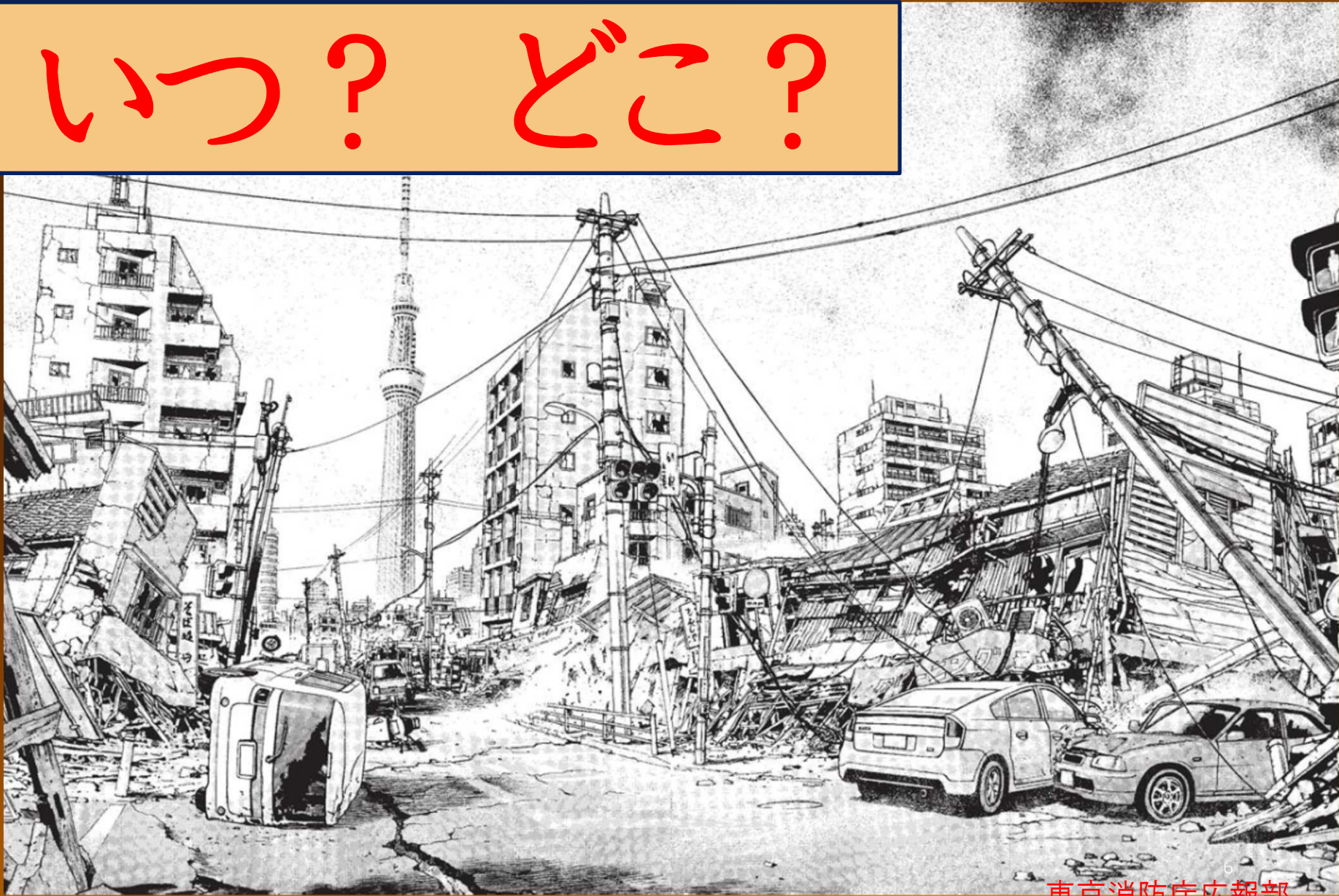
今度はいつ？ どこ？

命を守れるのは

あなたの

準備
次第

なのです。



東京消防庁広報部

地震の予報が あれば・・・(数日前に)・・・

地震情報があれば、甚大な被害が10分の1に
激減するという試算があります。

(被害試算 朝日新聞等々)

信頼できる「地震情報ネットワーク」が、
あれば(充実すれば)

安心して暮らせる**時代**が来ます。

- 約 1 週間（大地震は1ヶ月）前から、地震情報を発信します。
- 高信頼の電磁気地震計を開発中（基本設計完）です。
- 観測網のビッグデータから高信頼の予知情報が生まれます。

- 1 全国(200ヵ所)に観測網を計画!
- 2 新型「電磁気地震計」を開発中

地震情報の公開(配信)可能!
安心な暮らしができます。

(ここ2・3日か、1週間は、地震が来ないよ!と
言う観測情報も必要な時代になりました。)

全国の観測網 (第1期の計画)

地震電磁観測網 **200局**

地方単位での情報配信可

沖縄諸島

北海道地方(支庁他)
東北、信越地方
関東、北陸地方
東海、中部地方
近畿、中国地方
四国、九州地方
沖縄、島嶼**地方単位**

小笠原諸島



県庁と観測点



増加観測点

(各県に4～5局配置
図では170局です。)

発足時計画は**200局**
二～三次計画**600局**
設置予定数**1,200局**
気象庁の観測と他局数(地震計は3900局)

JYAN研究会 電磁波観測網 (2015年12月)

民間ボランティアだから [広がる全国的観測網！]

発足から7年、ライブネットの観測網が増え、全データを解析し、経験則を積んだら、地震予報の3要素が見えてきました。



大分ネットは8局で、県内をカバーしています！
全国ネットは、沖縄～東北迄「**40**」局で、観測中！
 各局は、東西南北の4放送局を**24H**態勢で観測中！

FM放送の電波150波をLiveで解析中！

AM～30Mhz & FM全波 & アース観測等を総合的に判定！

アマチュアHAM約300名(ML)超が無線を通じて社会貢献活動(防災/減災)に参加中です。

◎こんな観測網は例がありません◎

◎世界的に最先端の大観測網です。

大分県内50カ所の**観測網予想図**(最終段階)で、観測局の**黄色**が多くなると**要注意**で、**赤色**局が**集中**するとその真下が**震源**となります。また、異常レベルと範囲で「**大きさ**」、異常のパターンで「**いつ**」が判るのです。

「地震観測互惠ネット」での観測予想図(高崎山付近)
(赤)が特別警報局 (橙)が警報局 (黄)が注意局



気象庁の地震観測は全国600カ所の観測点からのデータを集めています。

他に地震観測機関等も含め全国で3,900カ所に地震観測点があります。それでも

地震警報は、直下型の地震は、揺れの後には届きません。事前情報が無いと予防はできません。私達の観測網は、電磁気観測でインターネット構造です。各県に10～20局の観測点を置き、全国で600カ所の観測局を目指しています。

QUAKE NEWS

JYAN研 (情報局) = 最も大事な情報です。

- 高度な地震観測システムが必要なのです。
- 本物の地震情報(観測情報)が求められています。
- 確かな組織から正確な情報が生まれます。

何故？電磁波の計測で、地震の発生が「予測できる」のでしょうか。

震源地では、必ず地殻内で軋轢が（押し合いへしあい）生じ、電磁気を起こすので、その電磁波を捉えるのです。

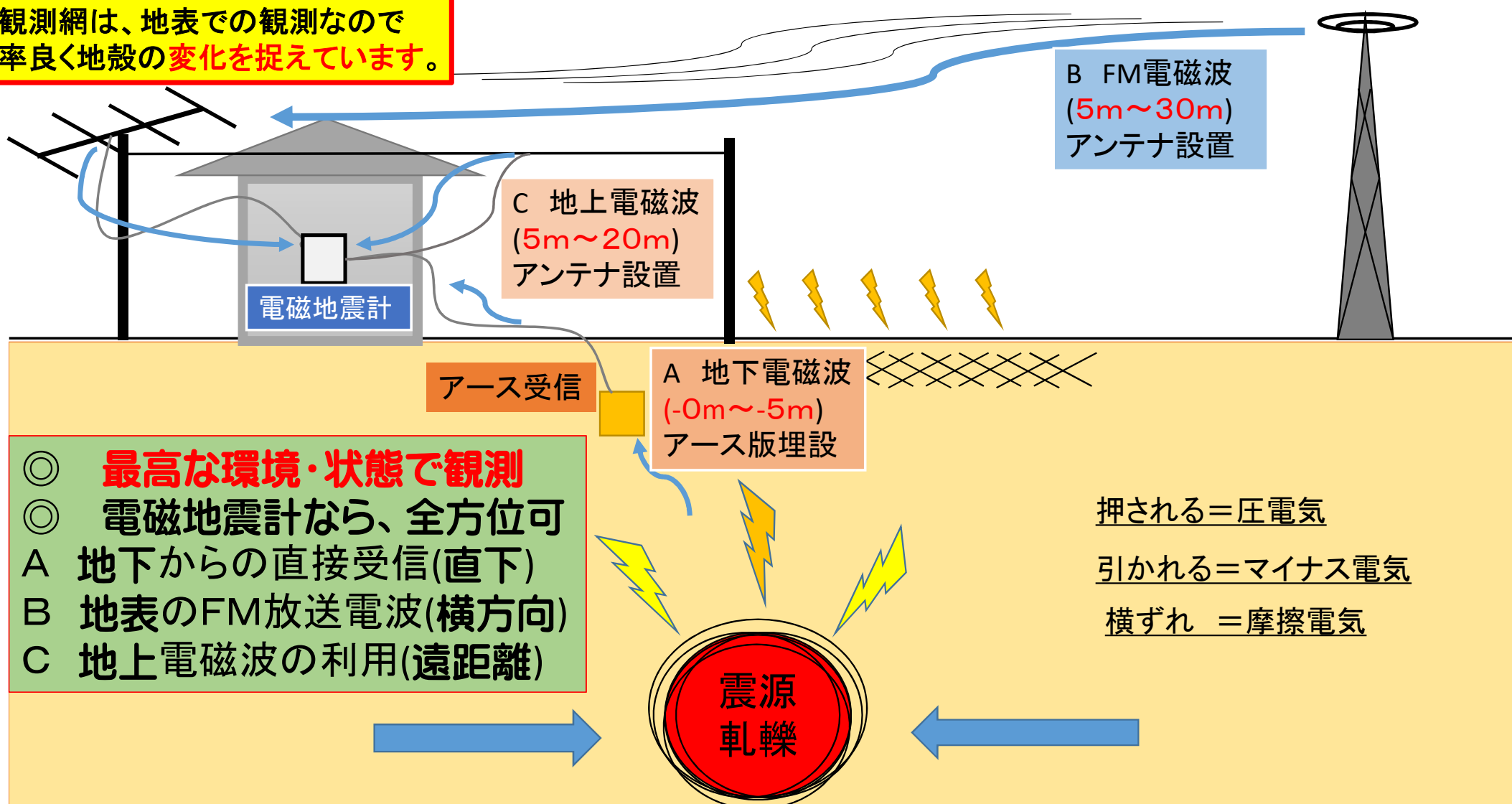
そのため「下中上の観測方式」

1. 下 = **アースからの観測** = (直下型地震の探索)
2. 中 = **FM直接波の観測** = (地上で横方向の探索)
3. 上 = **電磁波の全般観測** = (上空で日本全域の探索)

観測網と拠点観測で (最新の技術！)

地震の3要素が **見えます！**

当観測網は、地表での観測なので
効率良く地殻の**変化**を捉えています。



- ◎ **最高な環境・状態で観測**
- ◎ **電磁地震計なら、全方位可**
- A **地下からの直接受信(直下)**
- B **地表のFM放送電波(横方向)**
- C **地上電磁波の利用(遠距離)**

押される=圧電気
引かれる=マイナス電気
横ずれ =摩擦電気

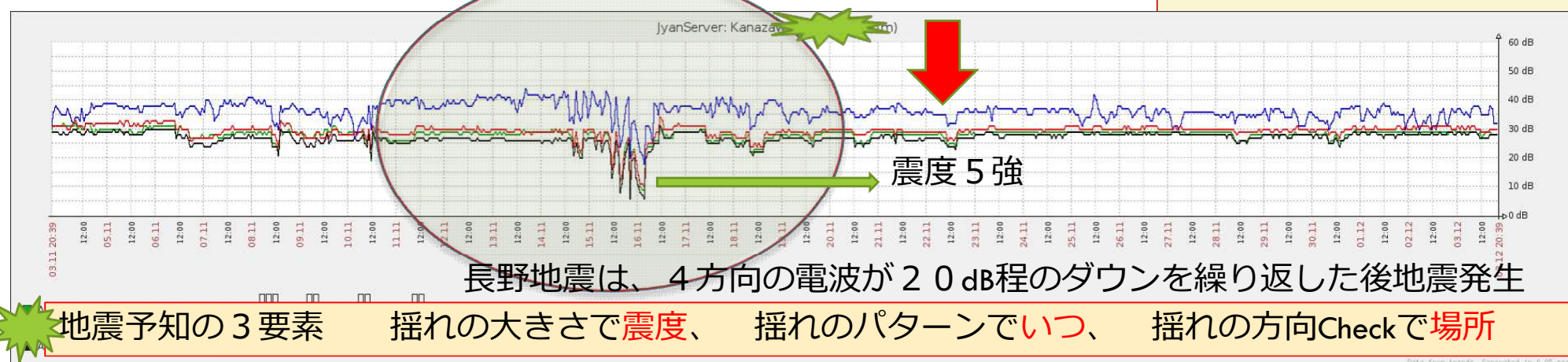
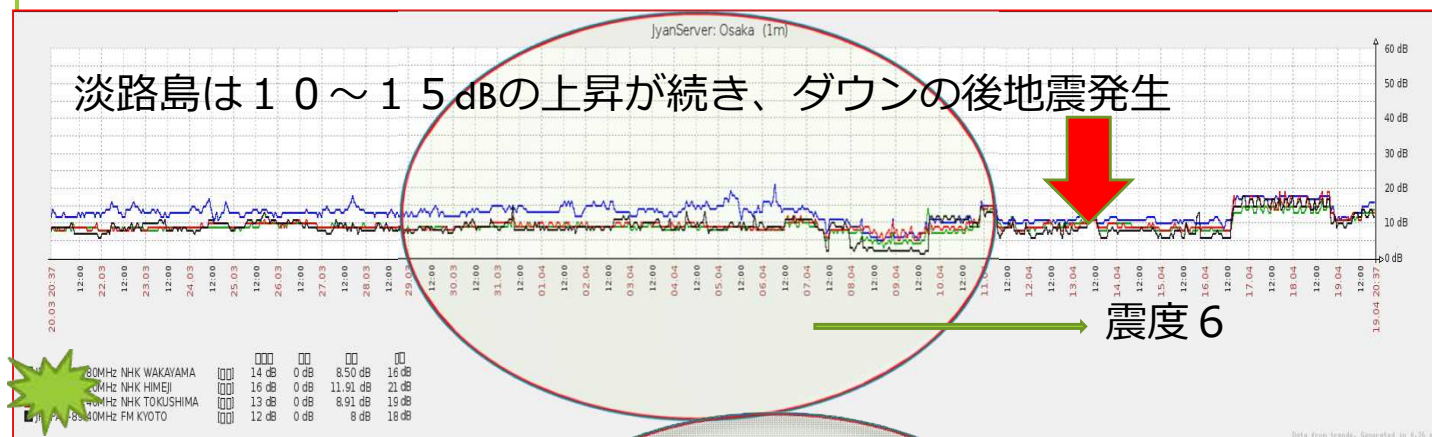
地震の元では、押し合い押し合いが、うねりのように繰り返され、地震が近づくに連れて大きくなってきます。
それが「電磁地震計」に、電波の強さや、ノイズ、パルスなどとして現れるので、観測状況を表示します。

地震の観測例

淡路島 と 長野地震

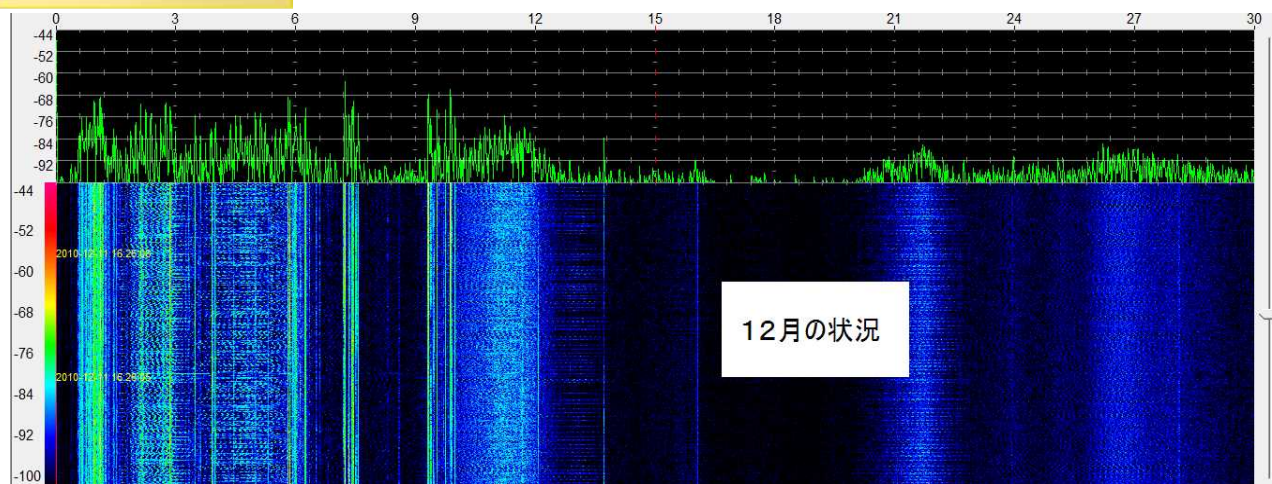
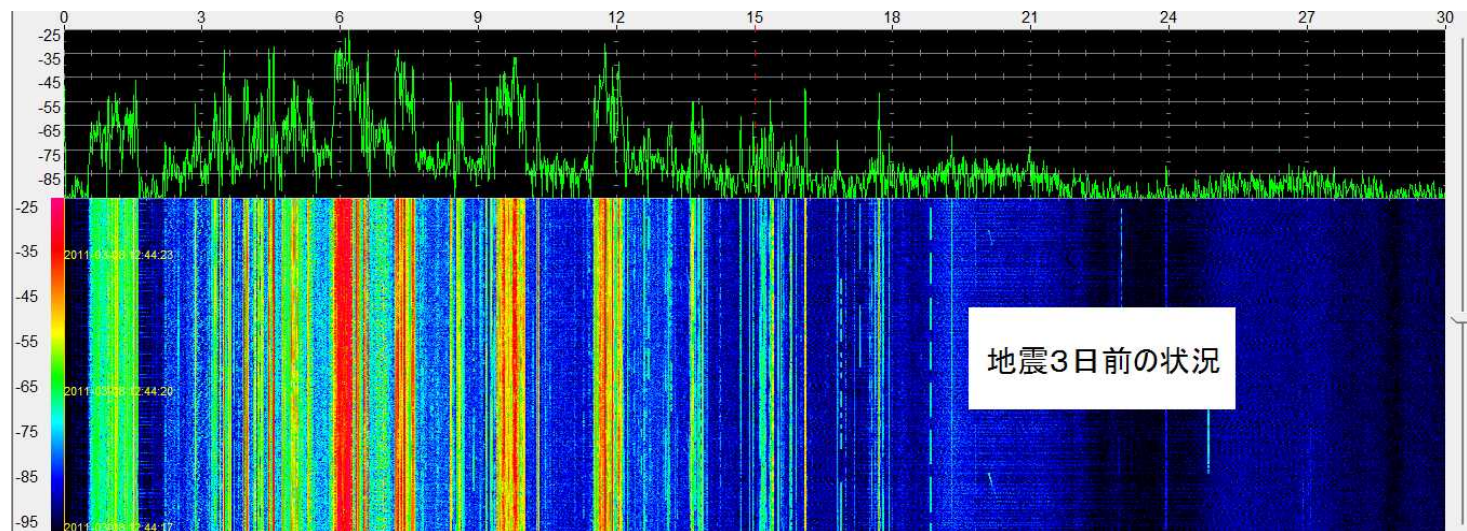
淡路島は
レベルアップ
(逆断層型)
(2013年4月)

長野地震は
レベルダウン
(正断層型)
(2014年11月)



東日本 大震災 (短波帯)

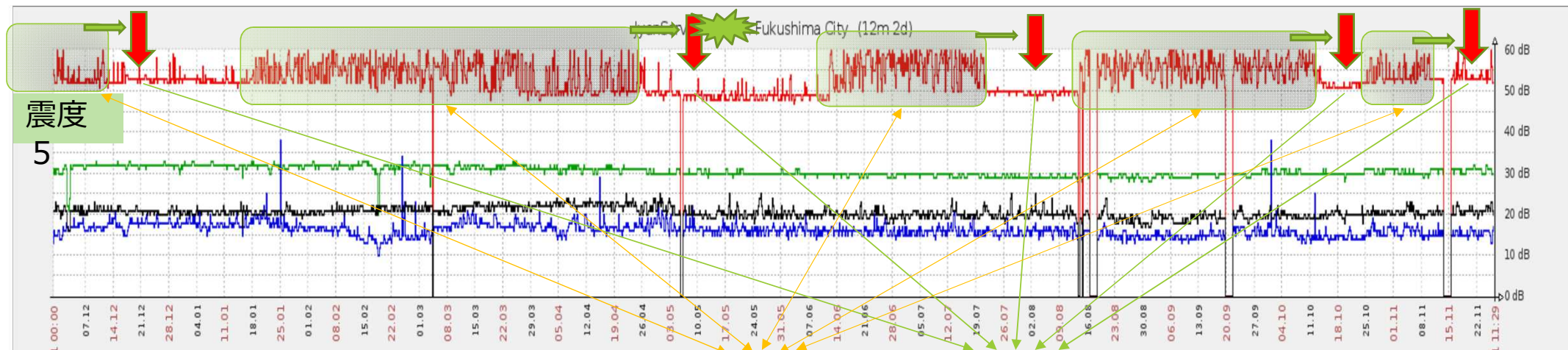
通常するとき



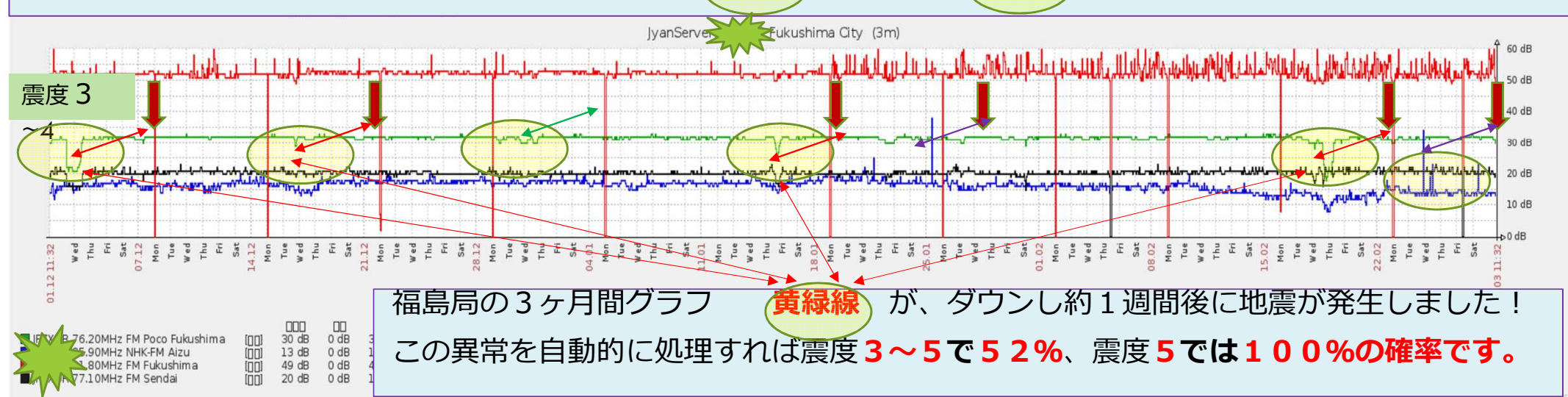
電波の強さを現す色の
様子が全然
違うのです。



地震観測網の記録例 福島局の観測グラフ(平成27年の1年間分と下は3ヶ月分です)



上図は福島局 1 年間グラフ 赤折線異常終了後に震度 5 の地震が発生しました。



福島局の3ヶ月間グラフ 黄緑線 が、ダウンし約 1 週間後に地震が発生しました！
この異常を自動的に処理すれば震度 3～5 で 52%、震度 5 では 100% の確率です。

地震前兆の記録ビデオ(実例)

地震電磁気の観測 (最先端技術)

20年の研究、10年の電磁気観測検証から、地震の電磁気前兆現象が見えてきました。

電磁気観測の実証実験（アース観測、FM直接波観測、HF観測等）を行っています。特に、新発見が多く、特許申請の準備も行っております。また、FMの直接波観測網は全国に広がってきました。

震度7 (震度6強以上見込) **100%の予測率**

地震予報は電磁気観測が有利

気象庁は揺れそのものを観測しています。
しかし、これは地震が起きた後の観測です
から予報にはならず、間に合いません。

地震の前兆を捉えるには

電磁気の観測方式が理に叶っています。

地震予知＝電磁波観測(＝ノイズ探し)

地震観測は、実は電波技術者の得意分野なのです！

■電磁気の発生は ～ 震源の軋轢が発生

■電磁気の変化は ～ 震源の様子が変化

- 自然の電磁現象から逆に辿ると、地震の元となる震源地の様子が判ります。
- 電磁気データと自然データを比較解析したら実際の現象に行き着きました。
- 地震と、海洋潮汐や地球潮汐等の相関関係を発見し、学会で発表しました。

結局、地震の自然現象は電磁気理論と地震のメカニズム理論とも基本的に整合していました。

地震電磁気観測網が完成すれば！

① どこで、地震が発生するか？

「地方単位」 東北や関東等で判る。

② いつ、地震が発生するか？

1週前、2～3日前に注意・警報等

③ どれくらい？ 震度は+- 0.5

現在の会社等での地震情報確率は？

地震解析ラボ(電離層) 8局体制 = 13%~(自称?)

週間メガ情報(GPS利用)1200局体制 = 11%~(自称?)

八ヶ岳天文台(電離層) 3局体制 = 9%~(自称?)

QuakeNews200局体制 = 50%~90%(以上を予想)

上記の確率出典は「地震前兆現象を科学する」(2015-12月出版)から引用

QuakeNewsは、現体制40局体制の実績(約52%)で200局体制では90%以上が目標です。

電離層の変化を観測 (電離層の反射波利用)

- 遠距離のFM放送波
- 超低周波帯の電波
- 観測局数は3~8局

電離層

約100k~350km上空

電離層 F2層 地上約300~350km

電離層 F1層 地上約200~250km

電離層 D・E層 地上約80km~100km

電離層は地表から遠過ぎて変化が出にくい

雲の層 3k~15km 雷層

何故？予測確率が大きく違うのか？

地表で最も効率的に観測！で相違

電磁地震計

地表電磁波 1.5m~10mで地上の影響が最も出やすい

地層

地表での多数観測 (震源~直接波利用)

- アースからの受信
 - 地表での間接受信
- 変化は分かり易いが
高度の技術が必要！

アース版

A 地下電磁気

震源
軋轢

押される=プラス圧電気
裂かれる=マイナス電気
ズれる=摩擦電気

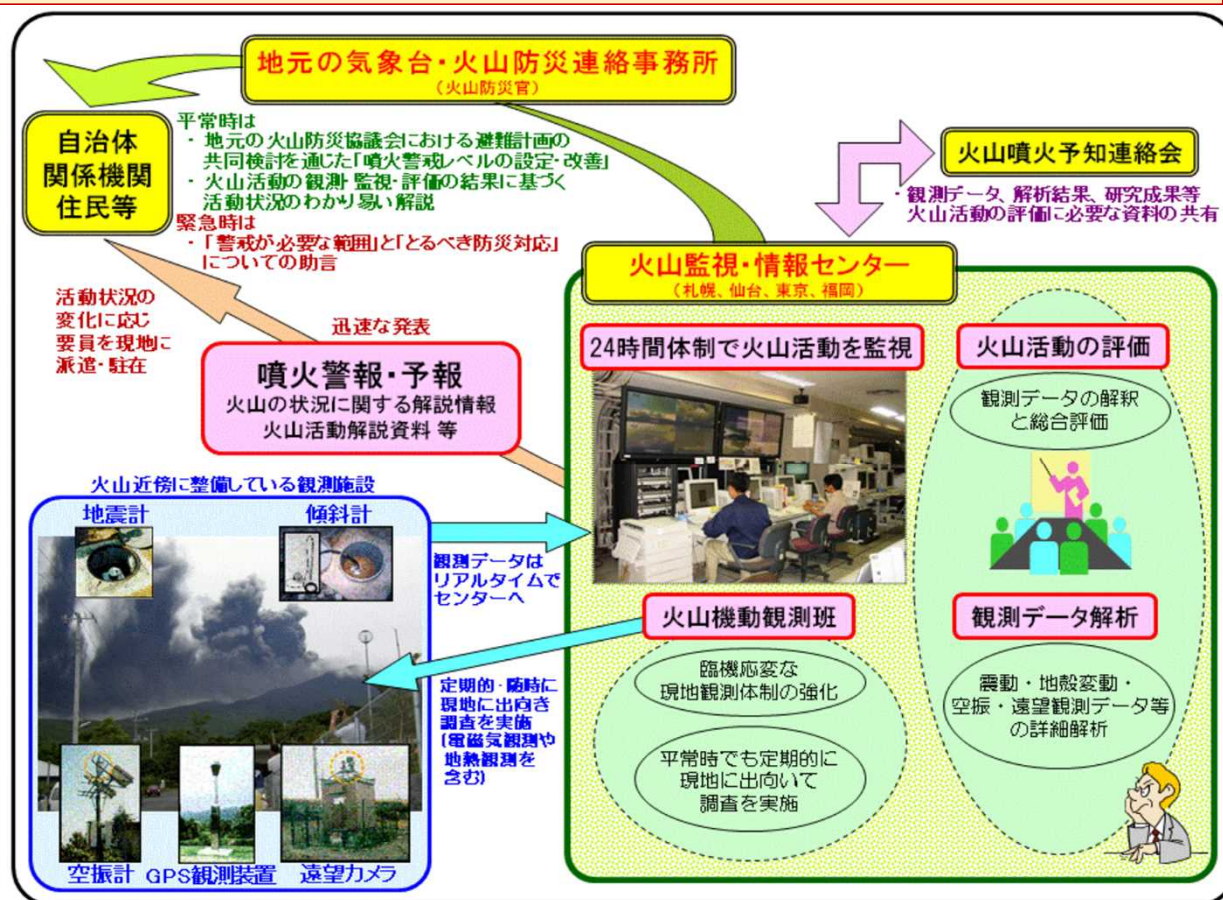
電磁地震計で地震情報は自動的に観測！

数百局の観測監視で間違っっては困りますからコンピューターで自動的に処理します。

異常レベルに応じて 注意報や警報、特別警報等 となります。

気象、地象も（地震トリガー）の一部で、多くの観測データを統合利用すれば、確率の高い信頼される地震情報となります。

(右は気象庁の例)



私たちは地震電磁気学ではトップ級



地震学者も、地震学はプロですが電磁気学の分野は、少々苦手のようです。

だから、私は地震観測の電磁気分野では常にリードし、新しい発見を連発し、十分に「**活躍しているのです**」。

私は、地震学会員として研究を始め、8年ですが、新しい分野の研究発表を3回行い、新聞やCQ等の月刊誌に7回掲載されてきました。地震電磁気学では40年の無線業務経験を生かし、発想や実験技術は、最高レベルと自負しています。





JYAN研のQUAKE NEWS

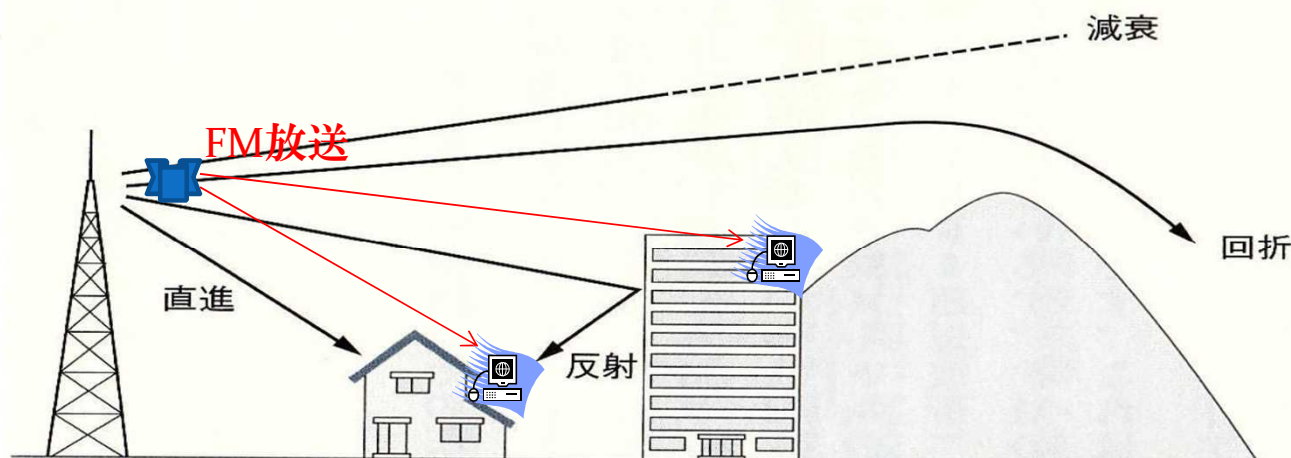
～ 地震観測情報 ～

賛同者と観測協力者を受け付けています。

観測や情報システムのVupを行っています。

電磁波の観測は各種ありますが、当観測網では地表を伝わるFM放送電波等やアースから直接受信して、**揺らぎ現象等を観測**しています。

- FM波の観測では、直接波を受信するため数m～数十m高の見通しアンテナで受信し、電波Dataを収集しています。なお、直接波観測は、電界強度の「±」両方向の観測が
- 図2-4 電波の性質 大事で予測には貴重なデータとなります。



FM受信用
ダイバシティ
アンテナの例



遠くなると、100Km程度のフレネルゾーン迄の地表波を観測していますが、電離層の変化を利用した観測は、地上80Km～300Kmの上空になり、観測範囲が広がって3要素が絞りにくいので、当観測エリアは横50Kmを基準としています。

資料

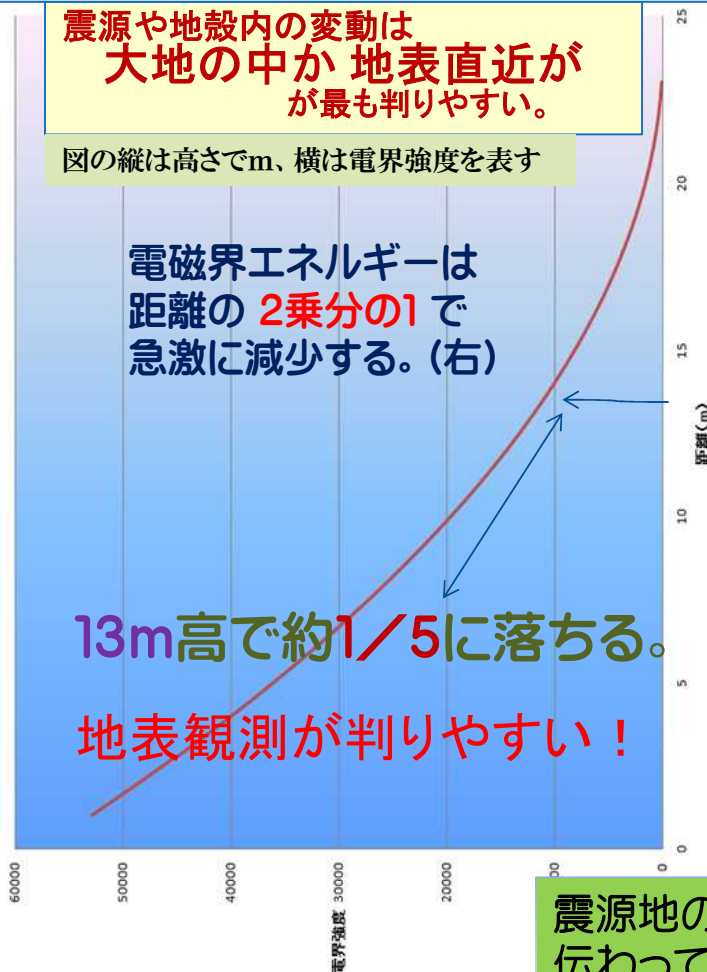
(理論) 地表面と上層の電磁界強度

震源や地殻内の変動は
大地の中か 地表直近が
最も判りやすい。

図の縦は高さでm、横は電界強度を表す

電磁界エネルギーは
距離の 2乗分の1で
急激に減少する。(右)

13m高で約1/5に落ちる。
地表観測が判りやすい！



電離層 (D F1 F2層) 約100~300km

スプラディックE層 約80km

電離層 ↑

空気層と電離層

上層の縦は地上高でKm(電離層の図)
下図の縦は空気層でKm(電磁界の図)

空気密度 ↓

地上30km 1/100

地上10k 1/4

地上5k 1/2

空気密度グラフ

地表

雲層

震源地の電磁エネルギーは電磁誘導等で地表まで
伝わって電磁気層や電磁輻射現象の原因となる。

観測手法の
現況

衛星観測
難しい

電離層観測
大まかにし
か判らない

地表観測
最も
判りやすい

地中観測
ノイズで判
りにくい

その他
研究中

理論解説

光と電磁波
は同じ性質
を持っています。

光は、蠟燭
の向こうで
は、揺れて
見えますが

同じ事が
電磁波でも
電界の揺れ
になって現
れます。

曲折理論と メカニズム

震源の軋轢等で発生した、電磁エネルギーは、地表面に伝わると、貯まって電磁界層を形成したり空中へ放射されたりします。

この(電磁界層は)

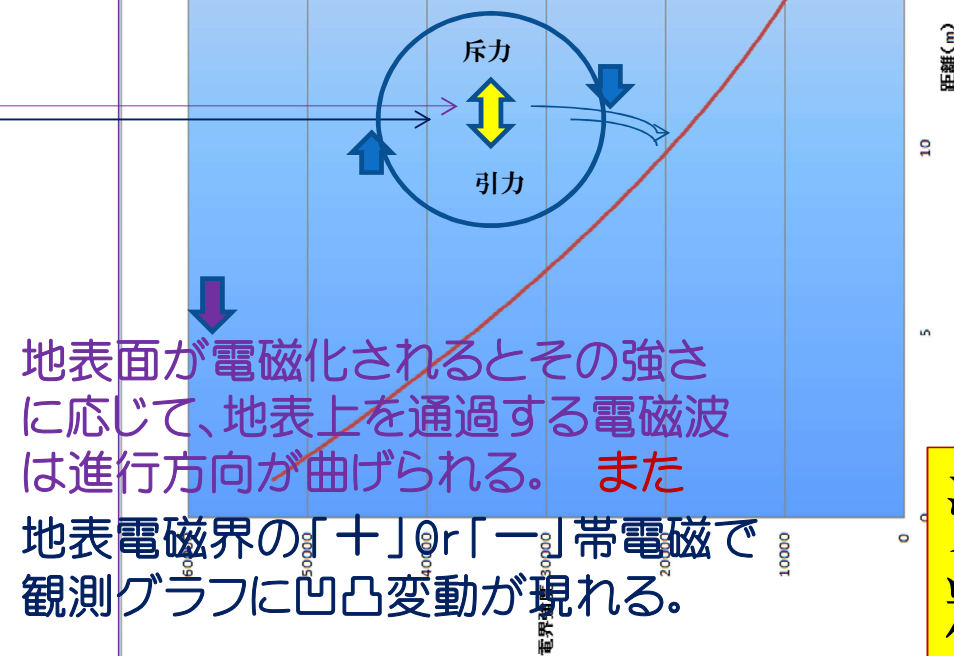
空気コンデンサー模様の界層で、地表では、電磁界の強度が最も強く現れますが、地上高が上がると(約距離の2乗に反比例して)極端に弱くなってしまいます。

(連続的な電磁誘導作用)

電気及び、磁氣的な引力や斥力等の作用によって、影響が最も強い地表では、通過中の電磁波も電磁界変化に応じ、屈折や曲折が発生して、電界強度が変化します。

地上4m=4万が20m=2千で約1/20に落ちる

(電磁界強度の減少グラフ)
高さ、電磁界強度の変化



資料

FM放送バンドでの異常Pulse数(2014年3月)

FM放送バンドで受信した電磁パルスの回数を記録したものです。(回数は概略で(赤)の記録有)

2014年	月	日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	日合計
2014年	2	23																				9			2	11	
2014年	2	24			1		1	b		30	30	40	40	40	50	40	20	b		1	a	a		a	1	294	
2014年	2	25	1		a11	1	2	b	1	b	b	b	3	10	b	10	1	a		2	2	1		b	2	b11	36
2014年	2	26			4	a11			2	2	13aa				2				bc	8b	8b	7c	7c	6c	6c		10
2014年	2	27	1	toppayure	6y	6y	6d	kieru		5c	6c	6c		5c	6c	6c			2	7c	5c	3	5c	7c	kieta	fukat	6
2014年	2	28	5	3	2	3	2		3	3	2	6	3	2	2	2	0	4	1	3	8	3	4	4	5	5	75
2014年	2	29		5	1		3		1	2	5	1		2	1		8	5	99	200	150	150	250	300	400	350	###
2014年	3	1	120	120	70	50		4		2	5	8		3			7	35	100	300	300	350	400	400	400	350	###
2014年	3	2	50	300	100	40	100	70	20	50	揺れ	揺れ	5	10	50	250	500	400	300	300	250	350	300	400	50	100	### 大潮
2014年	3	3	150c	3	10	70	200	250	80	40	5	3			1	40	50	30	100	300	300	200	200	200	50	10	###
2014年	3	4	50	70	20	10	3		5							1		20	120	150	200	350	250	150	200	100	###
2014年	3	5	200	120	100	80	100	100	100	100	150	300	200	80	100	100c	50	30c	110	80	100	100	120	150	110	25	###
2014年	3	6	5	2	3	60	3	2	6	2	1	2	2	3	3	1	2	3	50	70	150	250	350	400c	300c	250	###
2014年	3	7	200	80	3	30	60	20	2		1	3		3	4		13	30	50	130	180	100	100	40	4	###	
2014年	3	8	2	4	2	3	1		1	2	5	3	5	10		1	2	2	70	170	130	140	100	120	80	80	933
2014年	3	9	50	25	10	10	10	usuku	usuku	5	20	50	70	200	350	400	200	100	90	110	170	200	250	200	270	220	###
2014年	3	10	60	4	topp		2	1		2	2	2		2	1			20	250	250	300	300	350	180	80	20	###
2014年	3	11	10	3	7	50	20	1	150c	5	10c	3	1						1	25	50	14	40	200	250	680	
2014年	3	12	200	4	maga	5	5	3	3									2	3		5	10	25	23	toppe	30	319
2014年	3	13	barak	50c	45c	80c	15	10c	3	3	30	25	70c	10	50	20	15	55	40c	170	120	170	160	200	120s	10	###
2014年	3	14	barak	3	3	2	3				2		2	1			3	1	3	45	140	280	170	200	300	taba	###
2014年	3	15	70	40	30	100	110	70	250	400c	300c	30	50d	4		2	3	170	120	50	240	300	20	30	7	3	###
2014年	3	16	2	3	2		3	2			1		1	2		170c	20	5	3	5		3	3	5	2	3	66
2014年	3	17		2			1			4		1			25		10	5		7	70	100	80c	160c	5	20	250
2014年	3	18	8c	3	50cc	100c	200c	12c	25cc	9b			3	1			3	1			3	henn		1	3		18
2014年	3	19	5	1		1				1		2	2			denn	denn		90c	120	300	150	30c	1	ijyo	ijyo	583
2014年	3	20	2		4		3	50	30	100c	80	80c	60	40c	35	30c	30	70c	70c	140	100c	60	40	60	110c	80	674
2014年	3	21	120	30		2	2	2	1				1	2	3	9c		10	33	70cc	150c	25cc	tuus	30cc	7cc	50cc	206 大潮
2014年	3	22	1	2					1			2							3			1			1	40cc	12
2014年	3	23	3							2																	

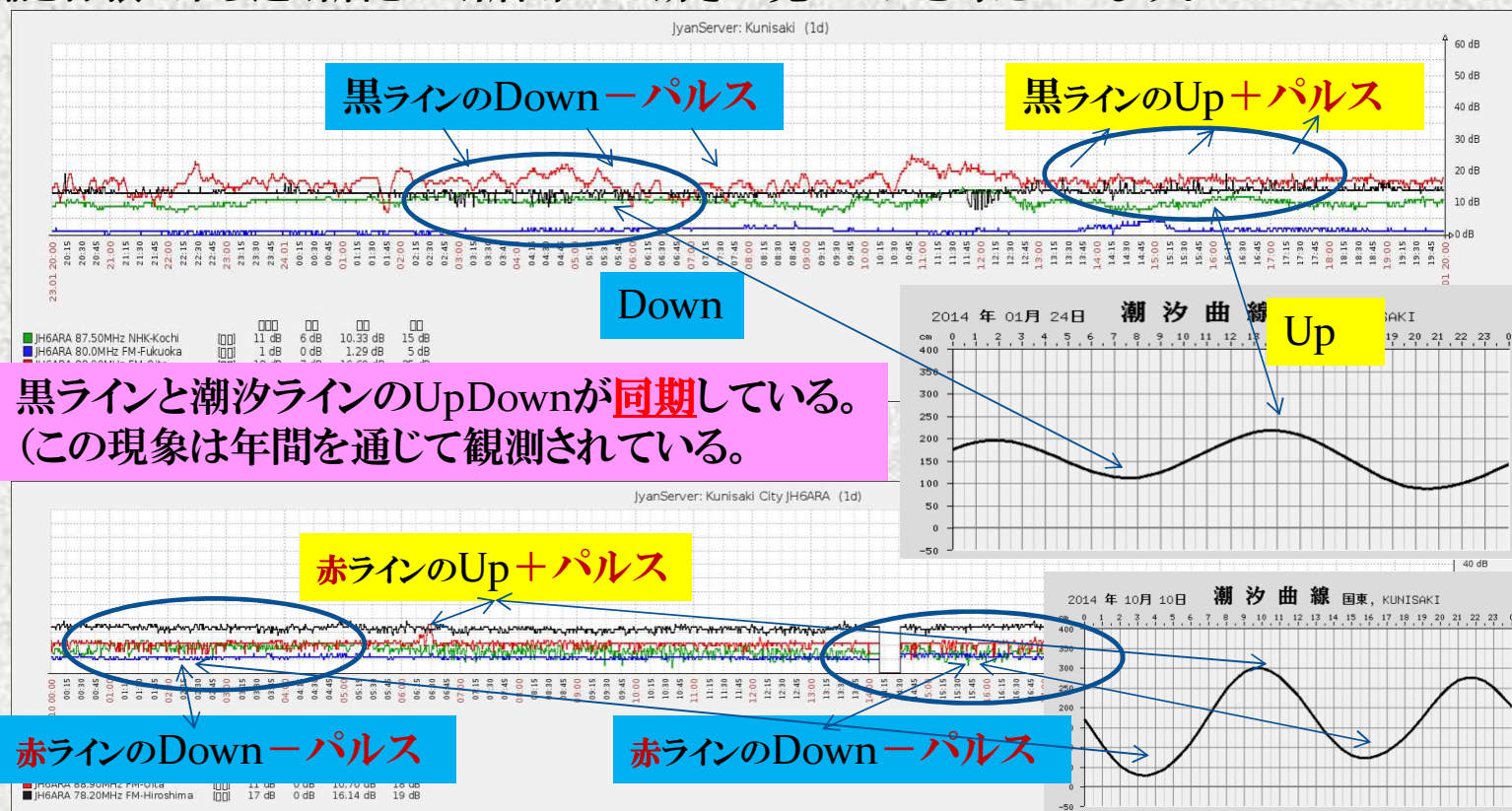
2回の地震の前が騒々しくなっています。これで、地震とパルスの関係があることを確信しました。
また、この表では何となく右・左に纏まりがあります。これで潮汐との関係にも気付きました。

この異常は、断層やズレ等の地殻変動と、強風(台風含)、潮汐等の「影響が大」です。

電磁波異常のDataとメカニズム

地表電磁界が影響を受けた観測記録 例 (UpDown、Pulse)

注意 UpDownとPulseの上下方向は、電界的な+と-の変化で現れていることから、軌轢の圧縮と伸張、即ち逆断層と正断層等々の動きで発生したと考えています。



資料

- ①JYAN研究会ホームページです。研究会の概要が載っています。特に観測局の情報が人気です。
- ②地震予測観測網は、実際に観測している方向けのHPです。専門的な解説等もあります。
- ③HAMICFSは研究会の試売HPでボランティア的です。参照は以下から
当研究会の「紹介サイト」

JYAN研究会HP地震予測観測網HP

トップページ

HAMIC

研究会の方針

研究の概要

公開・配信の情報

観測局NET

研究会連絡事項

お問い合わせ

地震の防災で、ハム(電波)と測網(FRI)と地震(EQ)学習が全国ネットと電磁気観測や地震予知の研究を行っています。

『自由な発想』と『最新の技術』を駆使して『Safe life』に向けて情報発信します。

電磁気異常の情報はHAMICで無料窓口をお願いします。

配信サービス

地震情報

観測局情報

HAMIC受付窓口

（本年も地震等の観測に変化があり、地表電磁界やAM帯・短波帯、FM帯等の観測から「地震等の予兆」をお知らせしています。地震情報ページ（詳細）や、観測情報、またNEWS & TOPICS等をご覧ください。）

NEWS

ツイート いいね! シェア

（JGU学会発表内容）2015年5月25日～26日 JGUの学会大会が24日～28日まで幕を閉じました。当研究会から私（会長 齋藤）が25/26両日に渡って発表しました。主旨は「カーの観測」した内容です。特にFM観測で、電磁気異常から潮汐が同期している、地殻変動から電磁気異常、電磁気異常から地震予知へと発展する大発見となり、震前兆の観測ツールとして関連性が証明され、予知情報の観測ツールとし、メカニズムになります。詳細は「研究の概要」ページをご覧ください。なお、今後は観測に期待が寄せられるようになります。見逃しの無い「地震前兆情報」ページにしたい。

TEL. 0978-72-2643

〒873-0503 大分県東国東市国東町鶴川1737番地

サービス

採用情報

アクセス

HAMIC(FORESIGHT)

TOPICS & CONCEPT

①左はJYAN研究会（公開中です）

②地震予測観測網（観測網会員のみ）左下は

③HAMIC FS（未公開）

地震予測観測網

トップページ(新着情報は最下段をご覧ください)

研究会の方針と活動Report 研究概要 観測NET 研究発表(学会他) CQ誌掲載

入会のご案内 お問い合わせ ブログ 観測と異常変化の状況 地震警戒情報 HAMICとその運用

0 3 6 9 12 15 18 21 24 27

-24 -32 -40 -48 -56 -64 -72

-24 -32 -40 -48 -56 -64 -72

2015年(平成27年度)からの方針について

先般、観測網各位に伺いましたJYAN研究会や地震予測観測網の活動方針ですが、お返事を承りました。ただし、次の意見がありましたので、活動計画に生かしたいと思っております。以下にその概内容をアップします。

地震予知アマチュアネット会員、且つ、地震予測観測網協力局の皆様へ（ご意見を募集します）

年3月29日 JYAN研究会の目標及び方針のVupについて JYAN研究会 会長 齋藤 春彦様、皆様には速やかにお返事のことと拝察申し上げます。また、平素から地震研究と電磁気異常の観測に協力して頂いております。誠に有難うございます。さて、新しい年度が始まります。

2015

最近の投稿

地震予知学会のお披露目式Report

サイバー攻撃? 撃退

電磁波の観測と解析実績について

九州一の久住連山

長編をご覧戴き有り難うございました。

- 私達の目的は、地震予防です。「無念の死」を極力減らします。
- 消防救助の経験から「人、一人の命」が、どれほど重いかを理解しています。
- 危険が高い震度6以上の地震は、100%の警報発信を目指しています。
- 突然の大地震でも、当地震情報によって予防できれば、無情の喜びです。
- ご助成、ご協力戴ける方は、jh6ara@orange.ocn.ne.jpにお願いします。